

令和6年度 かな福祉専門学校 学校関係者評価の結果報告

令和7年1月20日(月)に本校ゼミ室において令和6年度第2回学校関係者評価委員会が開催されました。以下、令和6年度学校関係者評価の概要を報告いたします。

【学校関係者評価委員会委員】

氏名	所属
磯 真由美 様	神川町地域包括支援センター 所長
上松 巧 様	特別養護老人ホーム千鳥の丘 施設長
岡野 秀隆 様	介護老人保健施設かみかわ 介護福祉士 本校卒業生
塚田 純也	かな福祉専門学校 校長
川端 博	かな福祉専門学校 教務主任

1 学校関係者評価委員会次第

- (1) 開会
- (2) 校長挨拶(学校の近況等)
- (3) 授業見学(2学年 生活支援技術E①)
- (4) 令和6年度学校自己評価の結果報告について
- (5) 質疑・意見交換(改善方法等)
- (6) 閉会

2 学校自己評価の結果報告に対する学校関係者評価の概要

(自己評価は 適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1、の4段階で評価し、指標はそれぞれの平均値を表示した)

(1) 教育理念・目標

取組状況指標平均は、3.3である。

学校の教育目標や特色は、学生へのアンケートの結果より概ね学生に周知されている。但し、コロナ禍も収束し、本校の理念・目的・育成人材・特色など、徐々に行事を通して周知出来てきつつあるが、まだ十分とはいえない。入学式や卒業式・学園祭など各行事を行っていく中で、学校見学なども盛り込みながらこれまで以上に保護者等に本校の特色を発信していく必要がある。また、本校の理念や目的等を学生や保護者、地域の高等学校にもPR活動していく。

(2) 運営

取組状況指標平均は、3.2である。

学校は適切に運営されている。年度初めに事業計画を職員に共通理解を図るとともに、年度途中での見直しと改善を行った。

学生募集等の情報公開や周知活動は、ホームページの更新やX（旧ツイッター）の活用で改善された。今後は、学校自己評価をはじめ学校運営に関する情報を積極的に公開し説明責任を果たしていく。

(3) 教育活動

取組状況指標平均は、3.2である。

教育到達レベルや学習時間は明確にされ確保されている。カリキュラムの見直しや施設実習等の位置づけ等の評価もほぼ適切である。

職員の能力開発のための研修の指標が2.5とやや低い結果になった。コロナ禍で校外研修の機会も少なく、今後は校内研修やウェブ研修を充実し、校外研修にも積極的に参加して資質の向上に努めていく。

(4) 学修成果

取組状況指標平均は、3.0である。

就職率100%、退学者0名を目標に掲げ、学生一人ひとりに応じた指導や支援を行っている。国家試験については、校内模擬試験や業者による模擬試験を実施し個別指導に生かした。また、11月からは週2回の課外補習を行い大きな成果を出すことができた。今後も学生の学習状況を把握し、更なる対策や指導法の工夫改善を行う。

卒業生の把握と卒業生のキャリアの活用については、指標が2.5と評価であった。卒業生については、今後関係施設と連絡を密にして卒業生の把握に努めていく。

(5) 学生支援

取組状況指標平均は、3.1である。

入学生に対する本校独自の奨学金給付や指定校推薦による入学金免除等の施策で経済的な支援が行われており、指標も3.5と高い評価であった。学生の経済状況について、個々の状況により介護福祉士修学資金貸付金制度を必要とする学生に、手続きを行い指導した。

卒業生に対する支援は、国家資格未拾得者に対して補講授業にも参加してもらい資格取得に支援している。

高校との連携は、高校訪問やインターンシップ事業・進路ガイダンスにお

ける出前授業等を積極的に行っているが、高等学校のインターンシップ事業はコロナ禍のためまだ再開されていない。

(6) 教育環境

取組状況指標平均は、2.9である。

施設面においては、介護実習室の備品がまだ不十分。特に介護用ベッドが全数、高さ調節可能なものとなっていない為、評価が2.5であった。介護用ベッドや備品について、順次計画的に最新のものを導入する計画である。

防災体制は、消防署と連携し整備されているので評価は3.3と高いものになっている。

学生には、交通手段が困難な学生に無料で各駅からの送迎を行っている。また、各学年の担任・副担任教員による個別面談を定期的に3回行い、就職指導など必要に応じた面談も行うなどきめ細かな支援を行った。

就職指導は、毎年10月に2回就職ガイダンスを開催し、1・2年生全員が福祉法人や医療法人、介護施設などの説明を聞くことができ今後の就職活動に大いに役立たせることができた。

(7) 学生の受け入れ募集

取組状況指標平均は、3.2である。

学生募集は適正に行われているが、まだ多くの学生の受け入れには至っていない。介護福祉希望学生の減少により、昨年度からAO入試を行い、入学希望者が入りやすい学校となるよう見直しを図った。

また、職業訓練生の希望者も減少しており、定員を確保ができていないことは、学校経営上大きな課題であり、ハローワークと連絡を密にとり広報活動を行っていく。

(8) 財務

取組状況指標平均は2.6である。

学校の財務は、社会福祉法人神流福祉会が適切に行っている。自己評価における中長期的における「財務の安定」の数値は1.8であった。定員確保が近年できていない状況を鑑みての結果である。高校生の介護福祉における関心度が薄く、資格取得希望者も少ない。入学者減少の原因の解明と分析が急務である。学生募集について一丸となって取り組む必要がある。各介護実習施設や公共施設への募集案内（オープンキャンパス・職業委託訓練生）の掲示に協力依頼する。

(9) 法令等の遵守

取組状況指標平均は3.2である。

指標の全てが、ほぼ適切を示している。学校評価（自己評価・関係者評価）がより充実したものになるよう学校関係者評価委員会と更なる連携を図る。個人情報保護の対策の明文化（文書化・電子化）しておく必要がある。

(10) 社会貢献・地域貢献

取組状況指標平均は3.0である。

コロナ禍も収束に向かってきたが、地域への貢献や学生に対するボランティア活動が限定的なものとなった。その中でも、地域の社会福祉協議会からのボランティア活動や、地域の産業祭への参加で本校の存在と介護福祉士について理解を深めてもらうことができた。今後も地域に開かれた学校として、行事やPR活動などを行い地域社会に貢献していく。